

広島県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（平成27年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	大竹市	33,573,071	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル 15,640,000	EPN 9,900,000	2-ブテナール 4,071,000
2	安芸高田 市	3,853,916	EPN 3,557,400	マンガン及びその化合物 140,140	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 65,600
3	竹原市	3,216,354	EPN 2,640,000	マンガン及びその化合物 473,200	セレン及びその化合物 67,680
4	三次市	2,677,459	EPN 2,607,000	チウラムまたはチラム 23,000	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く。) 19,460
5	福山市	1,566,962	マンガン及びその化合物 1,352,000	亜鉛の水溶性化合物 121,572	ニッケル化合物 43,500
6	呉市	1,101,622	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエー テル硫酸エステルナトリウム 576,000	2,2-ジプロモ-2-シアノアセトアミド 448,200	亜鉛の水溶性化合物 48,553
7	三原市	594,740	EPN 501,600	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエー テル 74,800	亜鉛の水溶性化合物 6,544